

A close-up photograph of a horse's head, showing its eye, ear, and muzzle. The horse has a white blaze on its face and a brown coat. The image is partially obscured by a semi-transparent grey rectangle containing text.

# 競馬予想の達人



**2022年度事業計画  
(2021.10.06)**

# 開発計画

競馬予想の達人では、今後下記2つの開発に注力します。



① 大規模競馬 AI 開発

② アンチ AI システム開発



# 大規模競馬 A I 開発

- ・近年競馬 A I がブームになりつつありますが、競馬予想の達人では 10 年以上前から競馬 A I の開発に取り組んで参りました。
- ・年々精度は向上しており、競馬予想の達人 A I をベースに予想している「特別プラン」では歴代最高回収率を記録しています。
- ・今後も競馬 A I のトップランナーを走り続けるために、さらなる大規模開発を行ってきます。

# 1.スピード指数の開発強化

- ・競走馬の走破時計を分析するスピード指数が世の中に完全に普及してしまったことで、スピード指数の旨味は大幅に減少しました。その結果として、近年はスピード指数は軽視されつつあります。
- ・しかし、期待値が下がっただけでの的中精度は変わらない状態で、的中に近づく上では重要なファクターであることには変わりません。
- ・2022年以降、軽視傾向にあるスピード指数は、期待値が回復されることが予測されます。
- ・このタイミングで、スピード指数の的中精度を向上させる開発を進めていくことで、今後の回収率の向上を狙います。

## 2. 馬場 A I の開発強化

- ・近年、J R A では競走馬の故障を減らす目的で、馬場の高速化が進んでいるため、最新傾向を解析することが重要です。
- ・クッション値など新しいファクターを参考に、馬場 A I の開発を強化していきます。
- ・馬場 A I に関しては、未来を予測するための「予測馬場 A I」と、過去の馬場状態（クッション状態・芝やダートの状況）から競走馬の資質・適性を見抜く「過去馬場 A I」の2種類の開発を主に進めていきます。

### 3. 血統 A I の開発強化

- ・長らく日本競馬を支えてきたディープインパクトとキングカメハメハが急死したことで、血統のバリエーションが今後増えていくことが予測されます。
- ・二代目・三代目以降の血統を深堀することで、新種牡馬の日本競馬への適性、能力の可能性などを予測することが重要です。
- ・新馬戦 A I が好結果を収めているように、既に上記の血統 A I は第一期の開発が済んでいる状況ですが、さらに先祖の血脈まで確認することで、成績の向上を目指します。

## 4. 騎手 A I の開発強化

- ・雨が降ったりや風が吹くことが多い日本において、騎手が競走馬をどのように導くかというのは非常に重要です。
- ・近年は日本競馬の馬場が進化をしているように、最新のトレンドに合わせて、考えて行動できる騎手の評価をあげていく必要があります。
- ・騎手の進路判断・スタート巧拙・コーナリング技術・追い技術などを客観的な指標として解析することで、騎手の技術を評価する A I を開発します。

## アンチ A I システム開発

- ・近年、想定していた以上のスピードで競馬AIが世の中に浸透しつつあります。
- ・前述した通り、競馬予想の達人 A I を年々進化を遂げており、2021年度は最高回収率を記録しています。
- ・今後も A I の開発を強化していくことが成績の向上につながると考えられますが、逆に A I が浸透することで期待値が上がるファクターにも目を向けたいと考えています。
- ・そこで、A I では的中が難しい、アナログだからこそ的中させることができる「アンチ A I システム」の開発を進めていきます。
- ・アンチ A I システムに関しては現在かなり大きな成果を上げつつあるため、どのような開発を行っているかを一部分だけ公開します。



# 1. レースVTRチェックの強化

- ・10年以上前から蓄積してきたデータのあるレースVTR解析ですが、AIの浸透と比例するように回収率が向上してきています。
- ・そこで、レースVTRをチェックするメンバーを増員し、今までは手が回らなかった細かい部分の分析を進めていきます。
- ・レースVTRでどの部分をチェックするのは企業秘密とさせていただきます。

## 2. パドック捜査班の新設

- ・新型コロナウイルスの影響で、パドックの解析を全レースに反映させることが困難になりつつありましたが、この度グリーンチャンネルで競馬場別のチャンネルが増設されました。
- ・それに伴いまして、パドック捜査班を新たに創設し、パドックの解析データを蓄積・反映をさせていきます。
- ・パドックに関しては当日だけではなく、競走馬の凡走理由とパドックのデキを結びつけることで、未来へとつなげることが可能です。

# 開発スケジュール

開発完了予定日	開発内容
2021.10.30	競馬予想の達人ベース A   強化第一弾
2021.11.30	アンチ A   システム強化第一弾 (レース VTR)
2022.02.28	アンチ A   システム強化第二弾 (パドック)
2022.04.30	血統 A   強化
2022.05.31	馬場 A   強化
2022.06.30	騎手 A   強化
2022.07.31	アンチ A   システム強化第三弾 (極秘)
2022.12.31	スピード指数強化